

**児童の実態**

本学級の児童は、全体的に学習に意欲を持って取り組むことができ、担任や友だちと話をすることが好きな児童が多い。家庭での出来事や、友だちと遊んだこと、習い事のことなどいろいろな会話を楽しんでいる。しかし学習活動の中では、短い文での表現はできるようになりつつあるが、自分の思いや考えを言葉で伝えたり説明したりすることに苦手意識をもっている児童も少なくない。一方的に思いや考えを伝えるのみで友だちが話すことへの意識が向いていないことも多く、相手に伝えるための話し方や大事なことを落とさないような話の聞き方がまだ十分定着していない。1学期の単元テストでは、「話すこと・聞くこと」の領域において、話し手が見つけたものについて聞き取る問題では、何を見つけたかについては正答率が高かったが、どこで見つけたかについては誤りが多く、話し手が知らせたいことを落とさずに聞くことに弱さが見られる。

**単元デザイン**

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における〔思考力、判断力、表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」(1)イ「相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて話す事柄の順序を考えること。」である。児童はこれまで話すことの話の設定、情報の収集、内容の検討の学習過程において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことを学習してきた。説明文「どうやってみをまもるのかな」「いろいろなふね」においては、事柄ごとに順に説明する文章に触れている。これまでの学習を活かし、本単元では、話の内容が聞き手に伝わるように、順序を考えて話すことができるようになることをねらいとしている。また、伝えたい事柄のまとまりを意識した話の構成を考えられるようにしたい。そして、本単元の活動を通して、自分の伝えたいことを事柄のまとまりや話す順序を意識して表現することで、相手に伝わりやすかったという実感を味わわせ、いろいろな学習や活動の場面において工夫して話そうとする姿勢を育てていきたい。

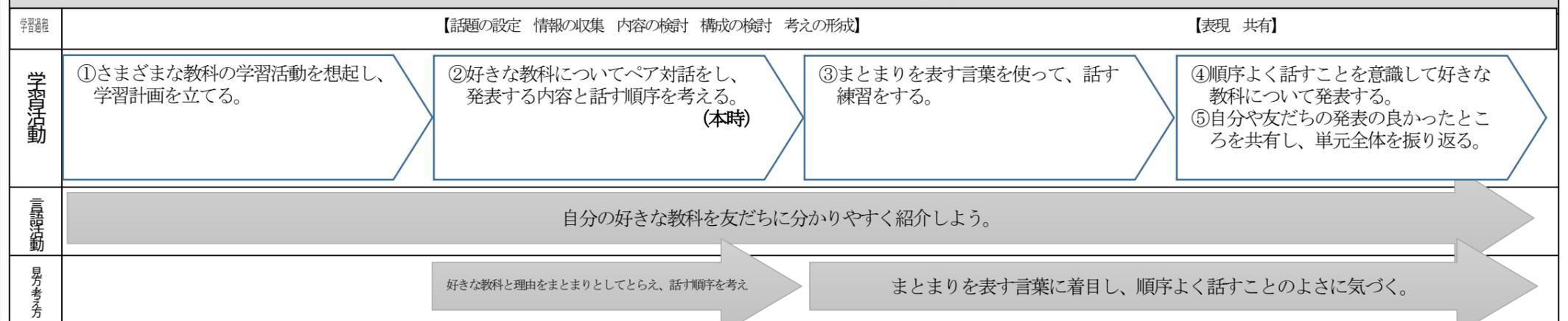
第1時では、学習の見通しを持ち、自分の好きな教科について、紹介したいという意欲を高める。また、話す順序を考えることが必要になるように、紹介する教科を1つではなく2つにする。本時の第2時では、友だちとの対話（質問し合い）を通して、どの教科のどんなところが好きかなど好きな教科について思いを膨らませ、伝えたい材料を集める。そして、明らかにした内容の話す順序を考える。また、対話をする際には、相づちを打ったり、共感的な言葉を使ったりして、友だちの話を受け入れながら聞くことを確認する。第3時では、前時に考えた伝えたい内容をまとまりや理由を表す言葉を使って、順序よく話す練習をする。第4・5時では、練習したことを活かして発表し、発表を通して学んだことを振り返りまとめていく。考えたことや気づいたことを自分たちの「言葉の力」としてまとめ（学級内に掲示）することで、実生活やいろいろな学習でも活用できるようにしたい。

**研究主題に迫る手立て**

安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

- 【自己決定】自分の考えや思いを持つことができるようにするために、ワークシートを活用する。
- 【自己存在感】自分の考えや思いを根拠をもって伝えられるようにするために、ペア対話を仕組む。
- 【共感的人間関係】相手の話を受け入れることができるようにするために、相手を受け入れる言葉を使ったり質問したりしながら話を聞き、ペア対話を仕組む。

すきなきょうかはなあに〈全5時間〉



**評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】	・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて話す事柄の順序を考えている。【A(1)イ】	・進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、学習の見通しを持って、好きな教科について発表しようとしている。

**単元の主な資質・能力**

**1・2年**  
相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。

**単元の目標**

【知識及び技能】  
・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア

【思考力、判断力、表現力等】  
・相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて話す事柄の順序を考えることができる。A(1)イ

【学びに向かう力、人間性等】  
・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

**本単元終了時の目指す児童像**

相手に伝わるように何から話すのかを考えたり、まとまりを表す言葉を使ったりして、順序よく話している。

**3・4年**  
相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

**5・6年**  
話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。

**中1年**  
自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。

1-1 **本時の目標** 友だちとの対話を通して、話すことや順序を考えることができる。

**本時における見方・考え方** 好きな教科と理由をまとまりとしてとらえ、話す順序を考える。

<p><b>学習の流れ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前時の学習を振り返る。</li> <li>2. めあてを確認する。</li> <li>3. 好きな教科について2人組で聞き合う。</li> <li>4. 発表する教科をメモに書く。</li> <li>5. 話す順序を考える。</li> <li>6. ふりかえり</li> </ol>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ふりかえり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">                 すきなわけ                  すきなきょうか             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">聞いてみよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">                 ・すきなきょうかはなに？                  ・どうしてそうおもったの？                  ・ほかにはどのきょうかがすき？                  ・どれがいちばんすき？             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">話をつなぐことば</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">教科書の対話の例</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">                 ④ すきなきょうかについて、なにからはなすかかんがえよう。             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">すきなきょうかはななに</div> </div>	<p><b>評価</b></p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて話す事柄の順序を考えている。</p> <p><b>B評価</b> 聞き手に伝わりやすい順序を考え、理由とともに表現できている。</p> <p><b>A評価</b> 聞き手に伝わりやすい順序を考え、行動と経験に基づいて理由を表現できている。</p>
---	---	---

つかむ・見通す

解決活動

まとめ・ふり返り

◆前時を振り返る。  
T:好きな教科について考えてどうでしたか。  
C:楽しい学習があった。  
C:友だちがどんな教科が好きか知りたい。  
C:好きな教科は見つかったけど、どんな風に話したらいいのかな。

◆めあてを確認する。

自分の好きな教科について、どんなことをどんな順序で話したらいいのか考えよう。

T:友だちに伝えたいことや伝えたい順序を決めるために、ペアで話し合ってみましょう。  
T:友だちと話をつなぐためにはどうしたらいいですか。  
C:受け止める言葉を使う。C:質問する。  
C:うなずきながら聞く。  
T:どんなことを聞くとよいですか。  
C:どうしてそう思ったか。  
C:どんなことが楽しいか。  
C:どれが1番好きか。

◆好きな教科についてペアで対話する。  
T:好きな教科について、話をつなぐ技も使いながらペアで話しましょう。  
※順番を決めて交互に話をする。

◆発表する好きな教科と理由をメモに書く。  
T:友だちに伝えたい教科を2つ選んで、好きな理由も書きましょう。  
C:私は体育が好きです。思い切り体を動かすことが好きだからです。  
C:私は国語が好きです。お話を音読したり漢字を覚えたりすることが楽しいからです。

◆話す順序を考える。  
T:2つの教科のどちらから話したいですか。  
C:ぼくは1つ目を体育にして、2つ目を国語にします。  
T:どうしてその順番にしましたか。  
C:1番好きな教科を先に話した方が好きな気持ちが伝わるからです。  
C:1番好きな教科を後にしたら聞いている人がわくわくして聞いてくれると思うからです。

◆まとめ・ふりかえり  
※児童の振り返りからまとめをする。  
C:友だちと話して好きな理由がはっきりした。  
C:友だちの話を聞いて、どちらを先に話すか決めることができた。  
C:1番好きな教科を先に言う順番と、後から1番好きな教科を言う順番があるのが分かった。

次時の予告  
次時には、聞いている人にどちらが1番好きか分かりやすくするための言い方を考えていくことを伝える。